

～自分らしく、なりたい自分に～

自主
自律
友愛

平田中だより

茨城市立平田中学校
学校長 磯村 昌宏
6月号
発行 R5 (2023).6. 2

「ドロドロに溶けたガラスの瓶はとても衝撃的でした。」「日頃、勉強のこと等でしんどいなあ、イヤやなあと思うことが色々あるけど、被爆当時の資料を見ていると自分の悩みなんてちっぽけなことなんだと思い、頑張ろうと思いました。」――。

5月30日から6月1日まで、3年生は2泊3日で「長崎・福岡」への修学旅行に出かけました。この学年の生徒の皆さんは小学校の「修学旅行」が、コロナウィルスの影響で学校によっては中止になったり行き先変更になったり、縮小されたりと悔しい思いをしてきました。それだけに今回の「修学旅行」ではぜひたくさんの思い出を作って充実した三日間にしてほしいと願っていました。天候に恵まれたとは言えない三日間ではありましたが、大きな事故やケガもなく無事に旅を終えることができ安堵の気持ちで一杯です。あらためて保護者の皆様や関係各位に感謝申し上げます。

冒頭の文章は「長崎原爆資料館」を見学した直後の生徒の感想です。多くの生徒が展示資料を真剣なまなざしで見つめていました。原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを肌で感じるとともに、自分たちが平和に暮らせていることの有難さにも思いを馳せてくれたに違いありません。

その他にも、長崎の伝統文化である「ペーロン」(船の競争)の体験、班ごとの市内散策、福岡での大宰府天満宮参拝、九州国立博物館や福岡市博物館での歴史文化の見学、工夫を凝らしたバス内レクリエーションや体育館での学年全体レクリエーションなど、一つひとつが思い出に残るとても有意義な三日間となりました。そして二日目夜の宿での「クラスミーティング」では、今の自分の悩みや不安、今後の決意などをクラスの仲間を信頼して自分の言葉で語る場面がたくさんあったようです。

この「修学旅行」を通してクラスや学年がまた一つまとまりを強くしました。これをきっかけにして、卒業までの残り10ヶ月間を、熱く、楽しく、充実して過ごしてほしいと願うばかりです。

1・2年生は6月1日に「万博記念公園」と「神戸市内」へそれぞれ校外学習に出かけました。こちらも、班ごとの行動で友情と信頼の絆を一層強め、今後の学校生活に有意義な効果をもたらしてくれることと思います。
(修学旅行の様子は学校ホームページにも掲載しています。)

